



# 芸南トピックス



▲ガラポン抽選ブース



▲女性部ブース



▲赤馬鈴薯出荷組合のみなさん



▲青壮年連盟ブース

## 「芸南ふれあい祭」盛大に開催!

JAひろしま芸南地域は12月6日、7日に「芸南ふれあい祭」を開催し延べ7千人が来場しました。

ふれあい市安芸津店の新鮮野菜や鮮魚など、お目当ての品物を求めてオープン前から長蛇の列ができました。

両日とも午前9時から旬のみかんや特産の赤馬鈴薯の店頭販売、玉ねぎの詰め放題などを行いました。

飲食ブースでは、JA女性部がおにぎりと豚汁、農産物直売所出荷協議会と青壮年連盟が焼きそばを出店。豪華賞品が当たる、ガラポン抽選会も行なわれ多くの来場者でにぎわいました。



JA女性部は、マイクロプラスチック削減の一翼を担うため、部員が育てたヘチマをたわしに加工し来場者にプレゼント。「懐かしい」「昨年プレゼントされて使ったが良かった」など大好評でした。

JA安芸津支店、安浦支店、川尻支店のふれあい委員会の他、多くの組織に協賛いただきました。

## 3支店合同で講演会を開催しました



▲パソコンを操作しながら講演をする若宮さん

JA安芸津支店、安浦支店、川尻支店のふれあい委員会は、JA共済の協賛で11月10日、安浦町のシャトレーゼガトーキングダムセトウチで生きがいを

テーマとした講演会を開き177人が参加しました。

芸南地域の支店ふれあい委員会は、昨年度から3支店合同で地域に寄り添った企画を実施。

今年是一般社団法人メロウ倶楽部理事の若宮正子さん(90)を講師に招き、「生きがい」デジタルと仲良くしましょう」と題して講演いただきました。

若宮さんは、自身のパソコン技術の習得体験を活かして、デジタル社会は誰も取り残さない社会を目指すことに通じると説明。生きがいを持つことが長寿

や生活の質の向上につながることや地域の幅広い世代の方と接点を持つことの大切さを呼びかけました。



▲熱心に聞き入る参加者





## 水稲 1月

**先月に引き続き、土づくりをする時期となります**

冬場の土づくりは稲の生育に大きく影響するので、有機物補給、土壌改良剤の施用を行ない耕起しておきましょう。

①有機物(10a当り) 次のいずれかを1t施用しましょう。

- ・牛ふん堆肥
- ・豊穰2号
- ・こだわり健肥

②土壌改良剤は水田の状態によって使い分けて施用しましょう。

・病気が多い水田では茎葉を強化し、病害耐性を高める“ケイ酸”を、根腐れが多い水田では根の発根強化に有効とされる“鉄分”を含む資材を施用しましょう。

**資材の使用例(※10a当り施用量)**

**ケイカル** 200kg(10袋)  
ケイ酸主成分。倒伏防止、いもち病・こま葉枯れ予防に

**ミネラルG** 200kg(10袋)  
ケイ酸・鉄分・石灰・苦土・マンガ

ンとバランス良い改良資材

**ミネリッチ** 100kg(5袋)

ミネラルGのケイ酸・苦土を高めたもの。生育・耐病強化に

**土楽園** 60kg(3袋)

高濃度でバランス良い改良資材。散布量を減らせる省力タイプ

**石灰窒素** 20kg(1袋)

年内に生ワラの上に散布。腐敗と微生物の増加を促進

**アグリ革命** 2kg(1袋)

酵素資材で、土壌環境に影響されることなく浮きワラ、ガス沸きを減少させる

**水稲問 安浦店**  
TEL 0823-8412049  
担当 桑原 伸明

## 野菜 1月

**タマネギの防除・追肥について**

**防除**

生育適温は15℃~23℃でやや低温を好み、地上部は20℃前後で地下部は16℃が最適となります。寒さに強く、生育初期に0℃程度の低温に耐えます。逆に暑さには弱く25℃以上になると生育は抑制されます。近年は暖冬傾向が強く、1月でも数日間温度の上がる年があります。真冬でも15℃を越える日が数日続いた時は、早めにべと病の防除を開始しましょう。発病前の予防が重要です。

**防除例**

**べと病・灰色かび病**

【発病予防】

ダコニール1000 1,000倍液

(収穫7日前まで、使用回数6回以内)

またはジマンダイセン水和剤500倍液(収穫3日前まで、使用回数5回以内)

【発病初期】

プロポーズ顆粒水和剤1,000倍液(収穫7日前まで、使用回数3回以内)

**追肥**

**1月上旬** 1回目として固形35号を1a当り

2kg条間に施用しましょう。

**2月上旬** 2回目として固形23号を1a当り

4kg条間に施用しましょう。

※貯蔵性が悪くなり腐敗の原因となるため、肥料は必ず3月上旬までに終了してください。

◎**抽苔(トウ立ち)**については次の原因が考えられます。

①苗を育苗する時に、は種時期が早すぎた場合

②冬を越す時に苗が大きすぎる場合

③生育中に肥料切れをおこした場合

**野菜全般について**

本格的な低温期に入り、作物全般の生育は遅くなります。マルチ・トンネルなどを利用して保温栽培をしましょう。

また、鶏フン、油カスの施用は低温期がおすすです。これらの発酵しやすい堆肥は、高温期に使用するとガスが発生しやすく、根腐みの原因になります。低温期に施用すると、ゆっくり分解され土を肥やします。春に向けた土づくりに適しています。

**保温マルチの選択 色と効果の関係**

**透明マルチ(馬鈴しょ・大根・人参など)**

太陽光により地温を上昇させ、保温が可能となります。同時に土中水分の蒸発を抑制し、長雨の場合は過湿も防ぎます。しかし光を透過するため雑草は良く生え、養分が奪われるので草を抑える除草剤の散布や、草の生え具合を見て肥料切れの場合は追肥が必要となります。

**黒マルチ(白菜・キャベツ・果菜類など)**

透明マルチに比べると地温の上昇効果は劣りますが、光を透過しにくく、雑草予防の効果が期待できます。肥料効果も持続しやすいので、初期に収穫後半までの肥料を施肥(一発施肥)すると管理がしやすくなります。

**グリーンマルチ(馬鈴しょ・大根など)**

ある程度の光を透過するので、前記の透明マルチと黒マルチの中間のような地温上昇効果、除草効果が得られます。肥料は一発施肥がおすすです。

**稲ワラマルチ(露地野菜全般)**

地温上昇を防ぎ、除草効果も期待されますが、使用後は堆肥として利用できます。水分が浸透するため、ワラの分解時は一時的に肥料が不足するので注意が必要です。

**〈生産工程管理日誌は必ず提出しましょう!〉**

生産工程管理日誌は次期作の栽培計画に利用でき、事故から生産者・消費者を守る大事な記録です。農業使用には細心の注意を払い、正確な記入・提出をお願いします。

**野菜問 営農経済課**

TEL 0846-4513360

担当 久保 勝義



# 果樹

2月

## かんきつ

### 中晩柑類の採収と予措

不知火は、減酸具合を確認しながら採収し、3月からの出荷に備えましょう。

清見は早く採収すると食味が悪く、ヤケ果の発生が多く成歩率が落ちるので、防寒対策を行ない3月上旬以降に採収しましょう。

甘夏は2月上旬までに採収し、5%（果実を握って見て弾力がある状態）程度の十分な予措を行ない貯蔵します。コンテナで貯蔵する場合は、果実は少なめ（手穴より下まで）に入れ、コンテナ同士の間は10cm以上開けて積み、風通しの良い条件で貯蔵しましょう。

### みかんの貯蔵庫管理

1週間に1度は必ず庫内全体の腐敗果の点検を行ないましょう。

果実の状態を見て、予措が不十分な場合には、風を通し換気を行ないましょう。

また、予措が効き過ぎの場合には、打ち水をするなどの管理を行なってください。

特に外気温が高くなってきたら、日の出前の気温の低い時間帯に庫内の空気の入替えをするとともに、頻繁に腐敗果実の点検を行ないましょう。

## 整枝・せん定

### みかん

せん定を行なう前に、密植園の間伐および縮伐を行ないましょう。独立樹にすることで樹全体に光が当たり発芽しやすくなり、品質の良い果実が生産されます。

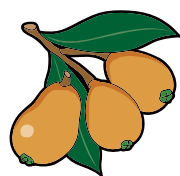
今年は全体的に着花不足が予想されるため、かぶさり枝の除去を中心に軽めの剪定を行ない隔年結果の是正に努めましょう。

### 中晩柑類

2月中旬以降、暖かくなり始めてからせん定を開始します。中晩柑類のなかでも不知火・はるみについては着花状況を見てせん定を行なうことにより、安定した大玉生産が見込めます。冬場のせん定は摘果がしづらく品質のバラツキが起りやすい下枝除去を中心に行ないましょう。

## びわ

### 土壌管理



1月に続いて土壌改良の時期です。管内では酸性土壌傾向の園が多いため、マリンカル（10a当り5袋）の施用（10a当り5袋）を行ないましょう。春肥の施用も今月中に行ないましょう。

## いちじく

いちじく栽培層に沿って堆肥・肥料を施用しましょう。

せん定は今月中に終わらせるように心がけましょう。

挿木の適期は3月中下旬となります。節間が短く充実した1年生枝を選び、乾燥させないようにポリ袋などで包み、貯蔵庫や冷蔵庫で保管しましょう。



### 農薬使用の注意点

- ・使用者自身の安全のため、農薬の製品ラベルに従った保護具を着用しましょう。
- ・環境への安全のため、周辺住民や農家に配慮し掲示版などで農薬の使用を事前に伝え、農薬が飛散してかからないように注意しましょう。
- ・作物の残留農薬が問題となっており、決められた作物種、使用量、使用時期、使用回数などを確実に守れば基準値を超えることはありません。

## 1月の苗販売情報

JA安芸津アグリセンターでは、直売所などJA出荷者の支援として、128穴セルトレイでの野菜苗の生産・供給を行なっています。数に限りがありますので、お早目にお問合せ頂ぎぜひご利用ください。



128穴セルトレイ



（商品例）キャベツ苗

### 今月の供給品目

品目名	品種名	販売予定	収穫予定
キャベツ	Y R 春空・初恋	1月中旬～	4月中旬～
サニーレタス ※トンネル栽培	マザーレッド・マザーグリーン	1月中旬～	3月下旬～

※在庫・価格等詳細については随時お問合せください。  
※特注品についても相談の上、対応致します。

自然に恵まれ「人と人との豊かな生活」がそこにある

あなたとわたしの  
ふれあい市



# JAひろしま ふれあい市安芸津店

東広島市安芸津町風早647番地 8

ふれあい市は、『農業者の所得増大』『農業生産の拡大』  
『地域の活性化』を基本目標とし、地産地消に取り組んでいます。



## 明けましておめでとうございます

本年も新鮮な農産物を豊富にそろえて元気いっぱい頑張ります！  
スタッフ一同みなさまのご来店を心よりお待ちしております！

1月中旬～  
2月中旬の  
おすすめ

1月中旬から  
はるみ、プリンス清見が  
でま～す。

まだまだ寒い日が続きますね。  
ふれあい市ではお鍋にぴったり！  
白菜や大根、シイタケなどのお野菜も入荷してますよ～

春菊

白菜

シイタケ

白ネギ

出荷会員募集中

自慢の農産物を出荷してみませんか？  
興味のある方は下記の連絡先までお問い  
合せてください。

☎0846-46-1166

ふれあい市安芸津店 担当：松本まで

※写真はイメージです。